



# 彩・菜・栽

2020年  
10月

## トンネル栽培で冬どり葉菜類を



コマツナ



シュンギク



ホウレンソウ



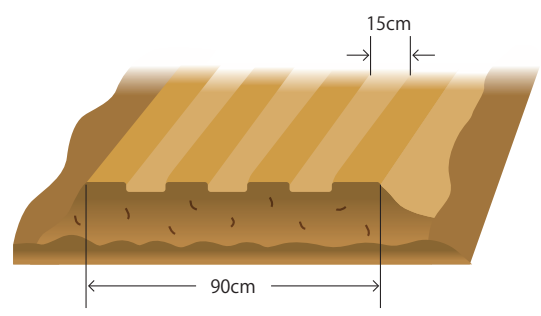
コカバ

秋野菜の育ち盛り・収穫のシーズン入りですが、次の時期に備えて今から種まきできる野菜の作り方を紹介しましょう。ただし、すぐに厳しい寒さに入るので、露地まきではとても冬どりには間に合いません。トンネル栽培にすることが必要です。

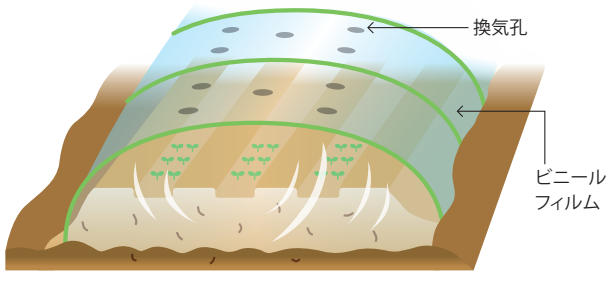
トンネル栽培で今から種まきできる野菜は、コマツナ、シュンギク、ホウレンソウ、コカバなどです。関東南部

以西の平坦地（の気温）で、これらの野菜の種まきの限界は10月下旬です。さらに寒い地域ではこの作型は無理で、翌春まで種まきはお休みとなります。

栽培方法としては、全面に早めに完熟堆肥をまいて15〜20cmの深さに耕しておいた畑に、図のようにベッドを作って油かすと化成肥料を施し、よく耕します。



発芽し、さかんに育ち始めたころ  
頂部に径4〜5cm  
ほどの穴をあける。



鍬幅（15cm内外）のまき溝を三条作り、溝幅全面に渡るように種をまき、5〜7mmぐらいの厚さに覆土します。畑が乾いていたなら、種をまく前に溝内にたっぷりかん水しておきましょう。

種まきをおえたらすぐにトンネルで覆います。そして裾に土をかけ、密閉状態にして発芽を促します。発芽して盛んに育ち始めたころ、頂部に穴をあけて換気を図ります。密閉状態を長く続けると育ちが軟弱になり、冬の寒害を受けやすくなりますが、適度に換気すれば、育ちはゆつくりですが健全に育ってくれます。

乾きやすい畑では10日に1回ぐらい、トンネルを外して十分かん水します。生育半ばのところに1、2回溝と溝の間に追肥して軽く土を混ぜ込んでください。